

教科	農業	科目	生物活用	単位数	1 単位	学年	2 年	コース	生教・健福
使用教科書	生物活用(実教出版)			使用副教材等	ワークシート、視聴覚教材				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、園芸作物や社会動物の活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。 本校で栽培している植物や動物、自然環境について体系的・系統的に理解するとともに、その特性を生かして生活の質の向上につながるよう合理的かつ創造的に問題を解決する力を養う。また、身につけた農業に関する知識や技術を生かし、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	園芸や社会動物が人の健康にもたらす効用の体験や生物の活用を通して、緑ある環境・園芸・社会動物の健康効果についての基礎的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身につけている。	地域に暮らす人々の健康に関する課題を発見し、緑ある環境や園芸、社会動物とのふれあいや飼育が健康増進につながるよう科学的な根拠に基づいて生物活用に関する課題について創造的に解決することができる。	園芸や社会動物を活用する学習を通して、地域の人々の生活の質の向上を目指し、健康増進を付加した農業の振興や社会貢献に、自ら課題解決に向けた意識を持って、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査(ペーパーテスト) ・小テスト ・ワークシート	・定期考査(ペーパーテスト) ・小テスト ・ワークシート	・ワークシート・ループリック ・座学、グループワークへの取り組みの観察

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学が中心となりますが、校内のさまざまな施設、農場に出向くことも多くあります。</li> <li>・来年度も引き続き履修する科目です。今年度学んだ知識や技術を生かし、次年度は外部との交流活動を計画していきます。自分の知識や技術で地域の方々の生活の質を向上させられるように、頑張って学習していきましょう。</li> </ul>
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 5 7	○オリエンテーション (授業の進め方や必要な教材等に関する諸注意、評価の仕方について理解する) え 第1章 生物活用の意義と役割 1 生物活用の意義と役割 2 植物・園芸と人間生活 3 動物と人間生活	<b>【知識・技術】</b> ・緑ある環境・園芸、社会動物の特性と効用について理解できているとともに、関連する技術が身に付いている。  <b>【思考・判断・表現】</b> ・緑ある環境・園芸、社会動物の特性と効用を科学的根拠に基づいて創造的に解決している。  <b>【主体的な態度】</b> ・緑ある環境・園芸、社会動物の特性と効用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	9 1 2	第2章 生物を活用した療法 1 生物を活用した療法 2 園芸療法 3 動物介在療法 (※園芸療法、動物介在療法ともにプログラムを考える)	<b>【知識・技術】</b> ・園芸作物の栽培と活用、社会動物の飼育と活用について理解できているとともに、関連する技術が身に付いている。  <b>【思考・判断・表現】</b> ・園芸作物の栽培と活用、社会動物の飼育と活用について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。  <b>【主体的な態度】</b> ・園芸作物の栽培と活用、社会動物の飼育と活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3	1 3	第5章 生物活用の実際 1 交流活動の実施 ・活動事例を学び、活動プログラムの立案、模擬交流活動、問題点の検証、プログラムの改善を行う。	<b>【知識・技術】</b> ・生物活用の実施について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。  <b>【思考・判断・表現】</b> ・交流対象者の健康に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。  <b>【主体的な態度】</b> ・生物活用の実施について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。